

令和5年度 第1回みんなで支える森林づくり上田地域会議 意見の概要

1 第4期森林税に対する意見の概要

- ・第4期の森林税においては、主伐・再造林による森林の若返りに重点が置かれているが、高齢級になつた森林をどうケアしていくか、知見を高めていく必要があると考える。
- ・後継者対策については、森林整備の担い手確保に重点が置かれている。いわゆる川中の、製材・加工分野の後継者対策にも力を入れてほしい。
- ・森林整備が進むためには地域の製材部門が活発化し、地域で材が売れることが大切である。
- ・どの分野でも人手不足が深刻だと思うが、林業においては特に厳しい。何か新しいアイデアがあれば教えてほしい。
- ・地域の森林整備のキーマンとなる、ヨーロッパでは一般的な「フォレスター」を、ぜひ上小地域にも取り入れてほしい。
- ・森林での環境教育が非常に大事であると思う。市民と一緒に森づくりを進め、街中にももっと緑を増やしていく取組を推進してほしい。

2 「開かれた里山整備事業計画」(管内2地区)に対する意見の概要

- ・有志やグループが熱心に活動しているが、ぜひ持続可能な活動にしてほしい。そのためには興味を持った人を巻き込む取組を進めてほしい。
- ・持続可能な活動が続くように県も適切なフォローをお願いしたい。
- ・里山整備事業の実績を上げるためには、行政目線ではなく、地域住民の「こんなことをしたい」という希望に寄り添い、どんなことが実施可能か、できるかわかりやすい資料にしてもらいたい。

3 今後の森林税に対して期待したいこと

- ・脱炭素、ゼロカーボンにもっと予算を使ってほしい。教室断熱(窓枠や断熱壁)は多くの関係者が関わることで意識が高まり、森林環境教育にも役立つ。
- ・プロが手掛けるセンスの良い木材製品により、需要拡大を目指してほしい。
- ・魅力発信、広報については、専門家、プロのデザイナーを活用し、県民に分かりやすい情報発信としてほしい。
- ・マツタケ振興は上小地区にとってたいへん重要。マツタケ山の整備を進めてほしい。
- ・林地の境界問題は喫緊の課題。問題解決のためにぜひ進めてほしい。
- ・これらの課題は、県や市町村、地域住民が協力して、適切な計画を立てていけば、今回の森林税でも実現可能だと思う。